

環境経営レポート

(運用期間 2023年7月1日から2024年6月30日まで)



株式会社 得能組

富山県砺波市太郎丸3-113

作成日 2024年 7月20日

【目次】

	Page
1. 組織の概要	1
2. 対象範囲および実施体制と役割・責任・権限	1-2
3. 環境経営方針	3
4. 環境活動計画・環境経営目標と実績	4-7
5. 環境活動実績の評価と見直し	8-10
6. 環境関連法規遵守状況の確認および結果への評価 違反、訴訟の有無	11
7. 経営者による全体の評価と見直し	12

認証・登録の組織及び活動

1. 組織の概要

事業所名及び代表者名

株式会社 得能組 代表取締役 得能 英紀

所在地

本社

〒939-1363 富山県砺波市太郎丸三丁目 1 1 3 番地

資材整備工場

〒939-1416 富山県砺波市芹谷 1 4 3 8 - 1

金沢作業所

〒920-0331 石川県金沢市大野町 4 - リー 1 7 7

環境管理責任者及び担当者氏名連絡先（メールアドレス・電話番号）

環境管理責任者 中瀧 裕二 (nakataki@tokunougumi.com・090-8963-1795)

環境管理担当者 佐野 満寿男 (office@tokunougumi.com・0763-32-4300)

事業の概要（事業許可の種類及び実施活動）

総合建設業（許可業種：土木工事業、とび・土工工事業）

事業規模（工事の件数、売上高、従業員数、事業所の延べ床面積等、事業の規模が判る情報）

工事件数 74件

売上高 42,847万円

従業員数 27名

事業所延べ床面積

本社 353㎡

資材整備工場 898㎡

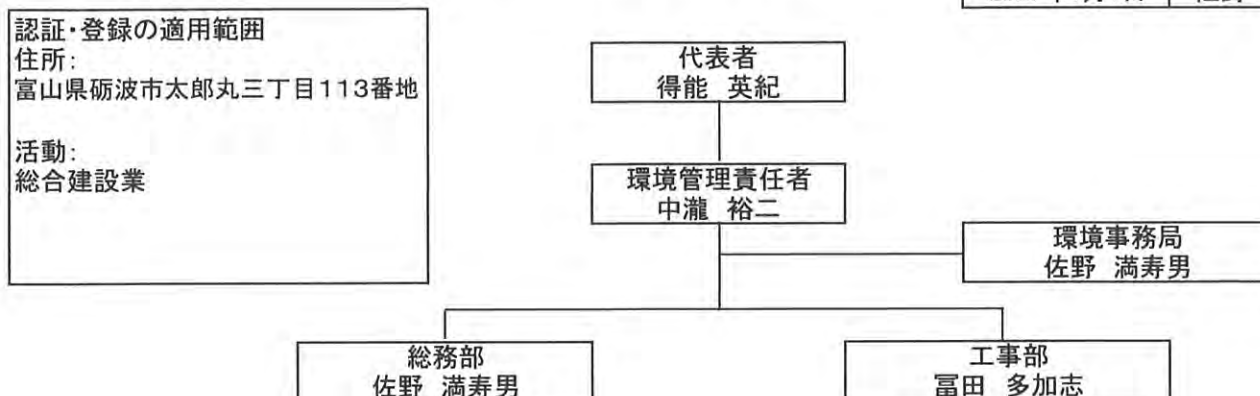
金沢作業所 119㎡

2. 対象範囲

全社組織並びに全活動を対象とする。

作成・更新日	作成者	承認者
2013年7月1日	土田	中瀧
2018年1月1日	水上	中瀧
2019年1月1日	佐野	中瀧
2021年1月1日	佐野	中瀧

環境経営 実施体制図



環境経営 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任。 環境経営システムの実施体制の構築。 必要な人・設備・費用・時間・技能者を準備。 環境管理責任者を任命。 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認。 代表者による全体の評価と見直しを実施。 環境活動レポートの承認。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、維持。 環境関連法規等の取りまとめ表を承認。 環境目標・環境活動計画書を確認。 環境活動の取組結果を分析・評価し代表者へ報告 環境活動レポートの確認。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21活動の事務局。 環境への負荷及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 環境目標、環境活動計画書原案の作成。 環境活動の実績集計。 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守状況のチェック実施。 環境関連の内部・外部コミュニケーションの窓口。 環境活動レポート作成、公開(事務所に備付け・地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施。 自部門における環境方針の周知。 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の管理・報告。 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成。 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 環境活動計画に従い、自主的・積極的に環境活動へ参加。

環 境 経 営 方 針

株式会社得能組は、自然と散居景観が美しい富山県砺波市にあり、建設業を営む企業としての活動が地域及び地球環境に与える影響に配慮し、環境改善に積極的に取り組み、持続可能な循環型社会を目指し、以下の項目を継続的に取り組んでいくことを誓約します。

1. 事業活動に関わる環境関連の法規、条例、その他の要求事項を遵守します。
2. 環境負荷の低減や環境改善を図るため、次の事項に重点的に取り組みます。
 - ①地球温暖化防止のため、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ②廃棄物の削減及び適正処理、リサイクルの推進に努めます。
 - ③節水の推進に取り組みます。
 - ④工事現場で、できる限りエコな工法、リサイクル品の使用、自然エネルギーを利用するなど環境負荷削減に努めます。
 - ⑤エコアクション21のシステムを構築・運営・維持・改善します。
3. この環境経営方針は、全従業員に周知します。

制定日：2021年9月30日

株式会社 得 能 組

代表取締役 得 能 英 紀



4. 環境活動計画

項 目		取 組 内 容		
二 酸 化 炭 素 排 出 量 削 減	電気使用量の削減	照明不用時の消灯励行		
		冷暖房設定温度の標準化		
		事務機器の空運転防止		
		クールビズ・ウォームビズの実践		
	灯油使用量の削減	コンクリート養生の効率化		
		暖房設定温度の標準化		
		ウォームビズの実践		
	液化石油ガス(LPG)使用量の削減	作業の効率化		
		重機・車輛燃料使用量の削減	不用積載禁止	
			空運転防止	
エコドライブの励行				
こまめな点検・整備				
省エネ車輛への転換				
廃 棄 物 排 出 量 削 減	紙類排出量の削減	文書等のペーパーレス化		
		印刷プレビューによるロスの防止		
		不要紙裏面再利用		
		両面・縮小印刷による枚数削減		
	産業廃棄物の再資源化	適切な処理の励行		
		排出量を可能な範囲で抑制		
		再生材の利用		
削排 水 減量	上水道使用量の削減	こまめな蛇口閉栓		
		節水意識の向上		
エコ工法		エコ工法の選択		
リサイクル品使用		マンホール、 コンクリート2次製品、 再生砕石、 再生アスファルト等を使用		
自然エネルギー利用		エコ機材の利用促進		

項目	単位	2013-2022年 度実績平均	2023年度 7月~6月 目標と実績		評 価	2024年度 目標	2025年度 中期目標
		基準値	目標率 目標値	実績/目標 実績値		目標率 目標値	目標率 目標値
二酸化炭素排出量削減	%	100%	99%	70%	○	98%	97%
	kg-CO ₂	216,909.4	214,540.4	149,718.2		212,185.9	209,831.4
電力使用量削減	%	100%	99%	77%	○	98%	97%
	kg-CO ₂	46,769.6	46,301.9	35,507.1		45,834.2	45,366.5
	kWh	88,915.5	88,026.3	67,504.0		87,137.2	86,248.0
化石燃料削減	%	100%	99%	68%	○	98%	97%
	kg-CO ₂	170,139.9	168,238.6	114,211.1		166,351.7	164,464.9
ガソリン	%	100%	99%	92%	○	98%	97%
	kg-CO ₂	52,158.9	51,637.3	47,507.7		51,115.7	50,594.1
	L	22,466.2	22,241.5	20,462.8		22,016.9	21,792.2
軽油	%	100%	99%	57%	○	98%	97%
	kg-CO ₂	113,164.2	112,032.6	63,298.5		110,900.9	109,769.3
	L	43,756.6	43,319.0	24,475.3		42,881.5	42,443.9
LPG	%	100%	90%	92%	△	90%	90%
	kg-CO ₂	144.7	130.2	120.1		130.2	130.2
	kg	48.2	43.4	40.0		43.4	43.4
灯油	%	100%	95%	74%	○	90%	85%
	kg-CO ₂	4,672.1	4,438.5	3,284.9		4,204.9	3,971.3
	L	1,874.9	1,781.2	1,318.2		1,687.4	1,593.7
産業廃棄物分別率向上	%	99%	99%	99.7%	○	100%	100%
環境負荷削減の取組	件	0	3	9	○	3	3
省エネ工法	件	0	0	0	○	0	0
地域貢献・創意工夫	件	0	2	6	○	2	2
自然エネルギー利用	件	0	1	3	○	1	1
一般廃棄物排出量削減	%	100%	99%	79%	○	99%	99%
	kg	448.9	444.4	349.4		444.4	444.4
一般廃棄物(紙以外) 排出量削減	%	100%	99%	79%	○	99%	99%
	kg	289.3	286.4	225.0		286.4	286.4
紙類排出量削減	%	100%	99%	79%	○	99%	99%
	kg	159.6	158.0	124.4		158.0	158.0
排水量の削減	%	100%	90%	48%	○	90%	90%
	m ³	611.5	550.4	265.0		550.4	550.4
上水道使用量の削減	%	100%	90%	48%	○	90%	90%
	m ³	611.5	550.4	265.0		550.4	550.4
地域環境活動実施	件	1	1	1	○	1	1

電力のCO₂排出係数は、2018年度北陸電力の調整後排出係数を用いた。

0.526 kg-CO₂/kWh

《<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc>》を参照。

評価基準：目標値・基準値ともに達成 ○、基準値のみ達成 △、目標値・基準値ともに未達成 ×

※当社は、化学物質は使用していません。

項目	単位	2013-2022年 度実績平均	2023年度 7月~6月 目標と実績		評 価	2024年度 目標	2025年度 中期目標
		基準値	目標率 目標値	実績/目標 実績値		目標率 目標値	目標率 目標値
二酸化炭素排出量削減	%	100%	99%	69%	○	98%	97%
	kg-CO ₂	167,121.7	165,250.5	113,922.4		163,393.9	161,537.2
電力使用量削減	%	100%	99%	142%	×	98%	97%
	kg-CO ₂	5,307.7	5,254.6	7,438.2		5,201.6	5,148.5
	kWh	10,090.7	9,989.8	14,141.0		9,888.9	9,788.0
化石燃料削減	%	100%	99%	67%	○	98%	97%
	kg-CO ₂	161,813.9	159,995.9	106,484.3		158,192.3	156,388.7
ガソリン	%	100%	99%	92%	○	98%	97%
	kg-CO ₂	43,832.9	43,394.6	40,139.6		42,956.3	42,518.0
	L	18,880.0	18,691.2	17,289.2		18,502.4	18,313.6
軽油	%	100%	99%	57%	○	98%	97%
	kg-CO ₂	113,164.2	112,032.6	63,298.5		110,900.9	109,769.3
	L	43,756.6	43,319.0	24,475.3		42,881.5	42,443.9
LPG	%	100%	90%	92%	△	90%	90%
	kg-CO ₂	144.7	130.2	120.1		130.2	130.2
	kg	48.2	43.4	40.0		43.4	43.4
灯油	%	100%	95%	66%	○	90%	85%
	kg-CO ₂	4,672.1	4,438.5	2,926.0		4,204.9	3,971.3
	L	1,874.9	1,781.2	1,174.2		1,687.4	1,593.7
産業廃棄物分別率向上	%	99%	99%	99.7%	○	100%	100%
環境負荷削減の取組	件	0	3	9	○	3	3
省エネ工法	件	0	0	0	○	0	0
地域貢献・創意工夫	件	0	2	6	○	2	2
自然エネルギー利用	件	0	1	3	○	1	1

0.526 kg-CO₂/kWh

項目	単位	2013-2022年 度実績平均	2023年度 7月~6月 目標と実績		評 価	2024年度 目標	2025年度 中期目標
		基準値	目標率 目標値	実績/目標 実績値		目標率 目標値	目標率 目標値
二酸化炭素排出量削減	%	100%	99%	73%	○	98%	97%
	kg-CO ₂	49,787.8	49,289.9	35,795.8		48,792.0	48,294.1
電力使用量削減	%	100%	99%	68%	○	98%	97%
	kg-CO ₂	41,461.8	41,047.2	28,068.9		40,632.6	40,218.0
	kWh	78,824.8	78,036.6	53,363.0		77,248.3	76,460.1
化石燃料削減	%	100%	99%	94%	○	98%	97%
	kg-CO ₂	8,325.9	8,242.7	7,726.9		8,159.4	8,076.2
ガソリン	%	100%	99%	89%	○	98%	97%
	kg-CO ₂	8,325.9	8,242.7	7,368.0		8,159.4	8,076.2
	L	3,586.2	3,550.3	3,173.6		3,514.5	3,478.6
軽油	%	100%	100%	0	○	100%	100%
	kg-CO ₂	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
	L	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
灯油	%	100%	100%	0	×	100%	100%
	kg-CO ₂	0.0	0.0	358.8		0.0	0.0
	L	0.0	0.0	144.0		0.0	0.0
一般廃棄物排出量削減	%	100%	99%	79%	○	99%	99%
	kg	448.9	444.4	349.4		444.4	444.4
一般廃棄物(紙以外) 排出量削減	%	100%	99%	79%	○	99%	99%
	kg	289.3	286.4	225.0		286.4	286.4
紙類排出量削減	%	100%	99%	79%	○	99%	99%
	kg	159.6	158.0	124.4		158.0	158.0
排水量の削減	%	100%	90%	48%	○	90%	90%
	m ³	611.5	550.4	265.0		550.4	550.4
上水道使用量の削減	%	100%	90%	48%	○	90%	90%
	m ³	611.5	550.4	265.0		550.4	550.4
地域環境活動実施	件	1	1	1	○	1	1

0.526 kg-CO₂/kWh

5. 環境活動実績の評価と見直し

項目	取組内容	実施内容の評価	次回の活動計画	
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減	照明不用時の消灯励行 冷暖房設定温度の標準化 事務機器の空運転防止 クールビズ・ウォームビズの実践	基準の77%を達成し、目標値は76.7%を達成した。現場事務所・金沢作業所での使用量が減ったことが削減につながった。	教育を通じて節電意識の定着を継続していく。
	灯油使用量の削減	コンクリート養生の効率化 暖房設定温度の標準化 ウォームビズの実践	現場事務所での暖房がストーブからエアコンにシフトしているため減少していると考えられる。	現状維持
	液化石油ガス(LPG)使用量の削減	作業の効率化	LPGの使用は少なかった。	現状維持
重機・車輛燃料使用量の削減	不用積載禁止	エコドライブの励行 こまめな点検・整備 省エネ車輛への転換	・工事連絡車、営業車の燃費はある程度定着してきている。 ・現場での重機に使う軽油の使用量のウェイトが高く、工事量、工事内容に影響されている。 ・車両の入れ替えにより軽油からガソリンへのシフトが進んでいる。	燃費測定にあたり距離数の報告が定着することで省エネ走行省エネ工事の意識向上を推進していく。
	空運転防止			
	エコドライブの励行			
	こまめな点検・整備			
	省エネ車輛への転換			
廃棄物排出量削減	紙類排出量の削減	文書等のペーパーレス化	2019年度以来、事務所内の書類整理を進めていたが、2023年度は削減することができた。	さらなる分別再資源化を目指していく。
		印刷プレビューによるロスの防止		
		不要紙裏面再利用		
	両面・縮小印刷による枚数削減			
産業廃棄物の再資源化	適切な処理の励行 排出量を可能な範囲で抑制 再生材の利用	再資源化率は99.7%となり、達成することができた。	今後も99%以上を目指す。	
削排水減量	上水道使用量の削減	こまめな蛇口閉栓	・2020年から毎日蛇口の閉め忘れのチェックを続けている。 ・フィットネスの閉鎖が削減に繋がっている。	教育を通じて節水意識の定着を継続していく。
		節水意識の向上		
エコ工法	エコ工法の選択	今年度はなかった。	現状維持	
地域貢献・創意工夫	4,000万円以上の元請工事で1件以上創意工夫を提出する。	県発注の工事4件、市発注の工事2件提出した。	現状維持	
自然エネルギー利用	エコ機材利用促進	夜間赤色灯、片交信号などできる限り利用した。	現状維持	

問題点の是正処置および予防処置

【現場】

項 目		原 因	是正処置および予防処置
二 酸 化 炭 素 排 出 量 削 減	電気使用量の削減	現場事務所でのエアコンの使用状況はその年によって変動がある。	工程会議における意識向上及び現場作業員への周知
	灯油使用量の削減		現状維持
	液化石油ガス(LPG)使用量の削減		現状維持
	重機・車輛燃料使用量の削減	遠方の工事が少なかったこと、完成工事高が少なかったことが影響し、ガソリン・軽油ともに減少した。	工事量に影響されない部分で、例えばなるべく遠隔地への移動を乗り合わせ等工夫する。
削 排 出 廃 棄 物 減 量	産業廃棄物の再資源化		現状維持
削 排 水 減 量	上水道使用量の削減		現状維持
リサイクル品利用			現状維持
自然エネルギー利用			現状維持

【事務所】

項 目		原 因	是正処置および予防処置
排二 出酸 量化 削炭 減素	電気使用量の削減	照明をLEDに変更した効果のほかフィットネス事業を廃止したことが削減につながっている。	現状維持
	車両燃料 使用量の削減		現状維持
出廃 量棄 削物 減排	紙類排出量 の削減		再資源化を一層推進するとともに、コピー用紙の購入量を把握することで削減につなげる。
削排 水 減量	上水道使用量 の削減	金沢の仕事が少なかったことで、金沢事務所の使用料が減った。	現状維持

6. 環境関連法規遵守状況の確認および結果への評価
違反、訴訟の有無

主な法規等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	収集運搬・処分委託先との契約締結、契約書の保管	○
	産業廃棄物管理票の交付、回収、照合、保管	○
	産業廃棄物管理票の未回収分の報告	○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	○
	産業廃棄物処理計画、実施状況報告書の提出	○
	運搬時の表示、書類携行	○
	委託した廃棄物の処理状況の確認	○
	建設廃棄物の処理責任を元請業者に一元化	○
	多量排出事業者の場合、処理計画・実施状況報告書を提出	○
建設リサイクル法	対象建設工事における特定建設資材の再資源化の義務	○
小型家電リサイクル法	市町村が定めた基準に従い、適正な分別排出	○
家電リサイクル法	小売店へ料金を支払い引き渡す	○
自動車リサイクル法	使用済み自動車を引き取り業者に引き渡す	○
オフロード法	オフロード法適用機械の確認	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン、重機のエアコンの簡易点検の実施	○
消防法	危険物の貯蔵・取扱の基準	○

当社の事業活動に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
過去3年間にわたり、関係機関等からの指摘、指導はありません。
この期間、顧客および住民よりの環境に関連するクレームはありませんでした。

7. 経営者による全体の評価と見直し

実施日	2024年 7月20日
活動期間	2023年 7月 1日 ~ 2024年 6月30日
使用した資料	1. 審査時に必要な文書 2. 審査時に必要な記録
評価内容	・ 環境経営システムが有効に機能しているか ・ 環境への取組が適切に実施されているか
評価の結果および 見直し事項	企業全体の二酸化炭素排出量は基準値及び目標値を下回ることができた。 金沢の仕事が少なかったこと、遠方の工事が少なかったことが原因の一つと考えられる。
変更の必要性の判断	環境経営方針 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> 不必要 環境経営目標・経営計画 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> 不必要 実施体制 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> 不必要 その他の計画 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> 不必要
環境管理者への指示事項	遠隔地での工事件数が減り、移動に伴う化石燃料は削減できました。 今後も引き続き、CO2削減に向けて努力を続けてください。
経営者の抱負	更なる社員・協力会社への浸透と環境改善への熱い思いを持ち続け、地域に認められる企業にいたします。

2024年 7月 20日

代表取締役 得能英紀

